はしがき

glafit バイク GFR-01 をご購入いただきまして、まことにありがとうございます。
当製品はハイブリッドバイクで、ペダルを踏んで漕ぐことによるペダル走行モードと、電動+ペダルによるハイブリッドモード、そして電動バイクと3つのモードで運転できます。

この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく、安全運転をしてください。

glafit バイク GFR-01 は、道路交通法では原動機付自転車、いわゆる「原付」となっております。

つきましては、右記事項を順守してください。
順守されないと違反となり、法により罰せられますのでご注意ください。

●運転免許が必要です。
原付免許 (原付一種) 以上の運転免許、普通自動車免許以上の運転免許が必要です。
●運転する時は、運転免許証の携行が必要です。
●運転する際は、ヘルメットの着用が義務付けられています。
●ナンバー登録及び取付が必要です。
●自動車損害賠償責任保険 (自賠責保険) への加入が必要です。
●走行する際は車道となります。歩道は走行できません (自転車が走行可能な歩道でも走行できません)。

ペダルが装着されていることから、一般的な自転車と同様に思われますが、当製品は原付バイクとなっております。

くれぐれも自転車ではなく、バイクとご理解ください。

安全に関する表示

運転される方、その周囲の他の方々への傷害や、財産の損害を未然に防止するため、安全に関する下記の表示をしております。表示の内容をよくご理解の上、取扱説明書をお読みください。

⚠ 危険	この表示の内容に従わないと、人の死亡もしくは重傷を負うことを意味しています。
⚠ 警告	この表示の内容に従わないと、人の死亡もしくは重傷を負う可能性があることを意味しています。
⚠ 注意	この表示の内容を無視し、誤った使い方をすると人が傷害を負ったり、物的損害が発生する危険性があることを意味しています。

なお、

- ●当製品は、予告なく仕様、デザインが変更になる場合があります。予めご了承ください。
- ●当製品をお譲りになられる場合、次の所有者にこの取扱説明書もご提供ください。

※当取扱説明書に掲載されている写真は、一部デザイン等仕様が異なる場合があります。予めご了承をお願いいたします。

CONTENTS 目次

1 安全のために…… P1
2 各部の名称……P2 ～ P5
3 製品の確認…… P6
4 最初に運転する時……P7 ～ P8
5 折り畳み方と組み立て方…… P9 ～ P13
6 インフォメーション・ディスプレイ…… P14 ～ P15
7 指紋認証鍵…… P16 ～ P18
8 バッテリーの取扱い…… P20 ～ P23
9 各部の操作方法…… P24 ～ P27
10 運転前点検…… P28 ～ P30
11 運転方法…… P31 ～ P32
12 運搬 ……P33
13 保管 ……P34
14 お手入れ…… P35 ～ P36
15 もしもの時～トラブルシューティング…… P37 ～ P38
16 洗車 ……P39
17 廃棄 ……P40
18 各部品の交換……P41
19 スペック…… P42 ～ P44
20 保証 ……P45
21 お問い合わせ…… P46
22 保証書 …… P47

安全のために

安全運転のために、以下を順守してください

●運転中は、ハンドルを両手でしっかりと握ってください。片手運転はしないでください。
→運転中、スマートフォン等携帯電話を見たり、操作することは法で禁止されています。
→なお、スマートフォンホルダー等をオプションで販売しています。スマートフォン等を確認及び操作する際は、必ず安全な場所で停車してから実施してください。
くれぐれも運転中の確認及び操作は禁止です。
→傘をさしながらの運転は、法で禁止されています。
●両足はペダルにしっかりと載せてください。
●急発進、急ブレーキ、急なハンドル操作といった「急」の付く操作はしないでください。たいへん危険です。
●歩行者第一優先で、配慮した運転をしてください。また他の車両への配慮も欠かさないで運転してください。

ヘルメットの着用は義務です

●ヘルメットはサイズに合った、適切なものを着用してください。
●着用時は、あごひもをしっかりと締めてください。
●ゴーグルやヘルメット・シールド等を、視界を妨げない範囲で装着し、眼の保護をしてください。
●二輪車用で、安全基準を満たしているSG マーク、PSC マークもしくはJIS マークのあるヘルメットの着用を推奨いたします。

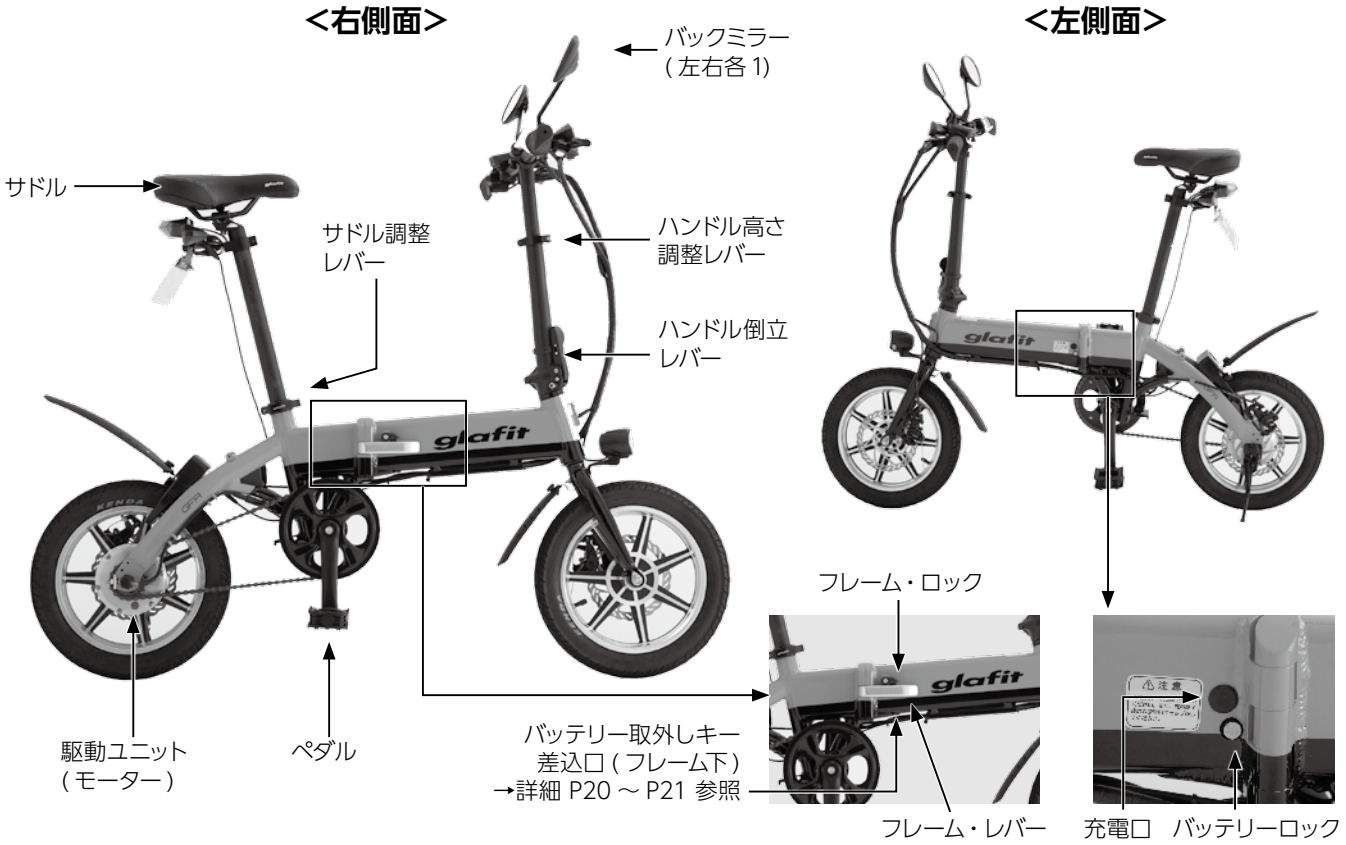
安全な服装で運転をしてください

●運転する際は、体の露出が少ない長そで、長ズボンを着用ください。
●同時に肩、肘、膝などへのプロテクターの装着も推奨いたします。
●滑りにくい革製のグローブ着用も推奨いたします。

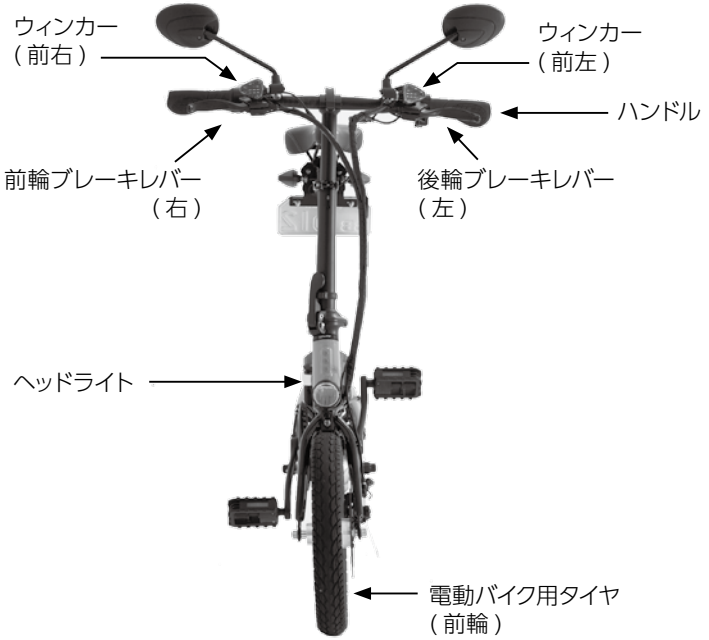
⚠警告

●チェーンへの巻き込みを防ぐため、裾の広いズボン、長いスカートは着用しないでください。
また裾が広いズボンは、ゴムやバンド等で巻いて、裾が広がらないように留めてください。
●長いマフラーの着用は、車輪やチェーンに巻き込まれてしまう可能性があるので、着用はおやめください。
●コート等丈の長い衣服を着用する際は、衣服がサドル後部のブレーキランプ、ウィンカー、ナンバープレートを隠さないように注意してください。
これらは、常に見える状態にしておかなければなりません。
●ヒールなどかかとの高い靴を着用しての運転は、たいへん危険ですのでおやめください。
●サンダルやすべりやすい靴の着用は、足がペダルからはずれ、転倒するおそれがありますのでおやめください。

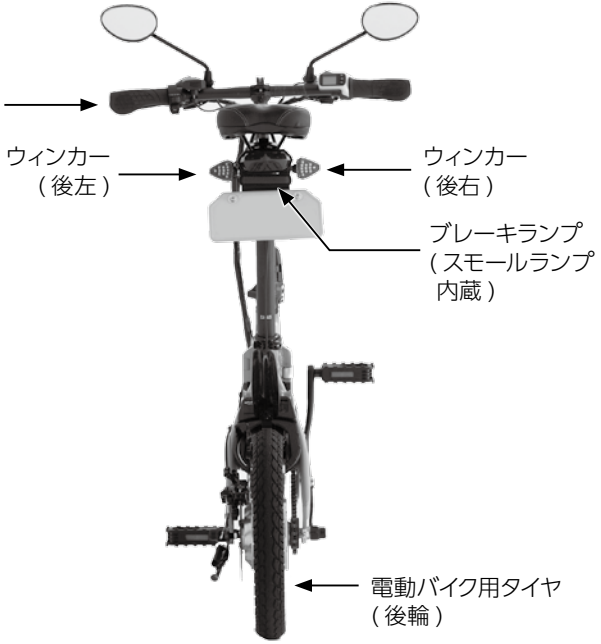
各部の名称


<右側面>
<左側面>
バックミラー
(左右各 1)
サドル
サドル調整
レバー
ハンドル高さ
調整レバー
ハンドル倒立
レバー
駆動ユニット
(モーター)
ペダル
フレーム・ロック
バッテリー取外しキー
差込口 (フレーム下)
→詳細 P20 ～ P21 参照
フレーム・レバー
充電口
バッテリーロック
glafit

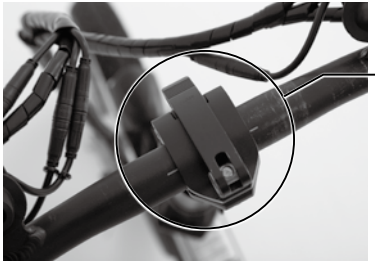
<前面>


ウィンカー
（前右）
ウィンカー
（前左）
ハンドル
前輪ブレーキレバー
（右）
後輪ブレーキレバー
（左）
ヘッドライト
電動バイク用タイヤ
（前輪）

<後面>


ウィンカー
（後左）
ウィンカー
（後右）
ブレーキランプ
（スモールランプ
内蔵）
電動バイク用タイヤ
（後輪）

<ハンドル左>



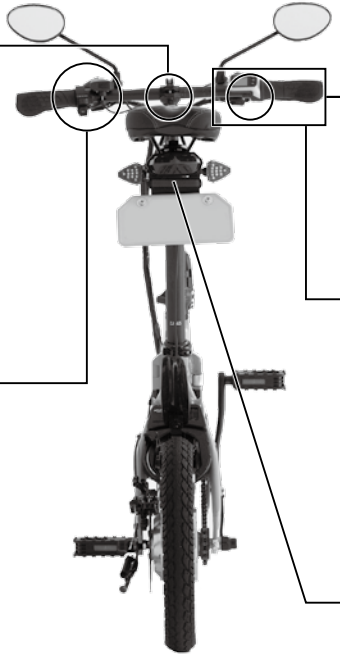
ハンドル調整レバー

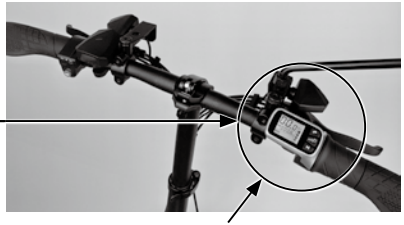


ホーン (警笛) ボタン

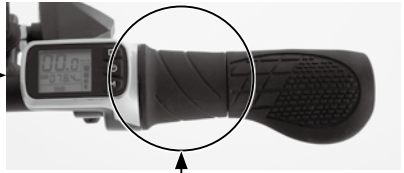
ウィンカースイッチ (方向指示器)

<後面>





インフォメーション・ディスプレイ (情報表示画面)

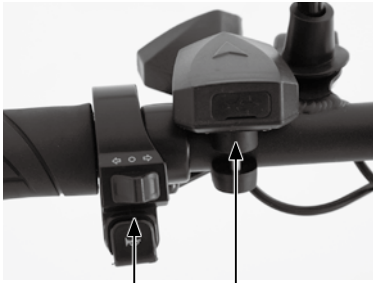


スロットル (右ハンドル・グリップ左側から、インフォメーション・ディスプレイの間)



ナンバーライト (白色 LED)

<ハンドル左>



ウィンカースイッチ（方向指示器）　USB ポート（オプション）



ホーン本体（ヘッドライト後部）

<左側面>



前輪ディスクブレーキ　スタンド　後輪ディスクブレーキ



指紋認証鍵

製品の確認

製品がお手元に届きましたら、下記内容が正しく納品されているかをご確認ください。

・本体 (glafit バイク) × 1 台
・取扱説明書 (本書) × 1 部
・バッテリー (本体フレームに内蔵) × 1 個
・バッテリー充電器 × 1 台
・バッテリー取外しキー × 2 本
・指紋認証鍵エマジェンシーキー × 2 本
・充電口キャップ (予備) × 1 個
　※ 1 個は本体フレームに装着済
・証明書携行用ケース (標識交付証明書、
　自賠責証明書入れ) × 1 個
・固定用ベルト × 1 本
　→運搬時、折り畳んだ際に製品を固定するベルト

もし上記内容に不足があったら、至急販売店に確認し、提供を受けてください。



本体


バッテリー
(フレームに内蔵)


バッテリー充電器


固定ベルト



証明書携行用ケース



取扱説明書


指紋認証鍵
エマジェンシーキー × 2 本


バッテリー取外しキー × 2 本



充電口キャップ (予備) × 1 個
※ 1 個はフレームに装着済


充電口キャップ

最初に運転する時

当製品は原付となりますので、ナンバー登録と自賠責の加入が必要です。
販売店からのご購入の場合は、販売店がナンバー登録と自賠責保険の加入手続きまで対応してもらえます。

①自賠責保険への加入

自賠責への加入申し込みは、販売店等の自賠責保険取扱店、もしくはコンビニエンスストアでもその申込ができます。
販売店は自賠責保険加入申込書に、ナンバーが交付されると発行される「標識交付証明書」の内容に従って必要事項を記入し、保険料の支払いを同時にしてください。

1. 自賠責保険加入申込書を、販売店もしくはコンビニエンスストア等で受け取ります。
2. 自賠責保険加入申込書に、「標識交付証明書」の内容に従って必要事項を記入します。
3. 販売店もしくは自賠責保険取扱店、コンビニエンスストア等で申込をします。
4. 申込と同時に保険料を支払います。

②ヘルメットを用意する

当製品は原付ですので、運転する際はヘルメットの着用が義務付けられています。従って二輪車用ヘルメットをご用意ください。

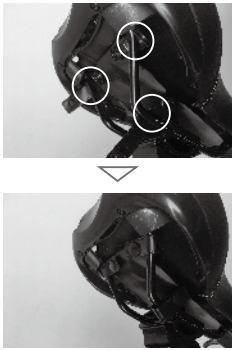
③運転免許証を携帯する

原付免許以上の運転免許が必要ですので、運転免許を取得し、その運転免許証を運転時は常に携帯してください。

④証明書携行用ケースの取付

証明書携行用ケースに、標識交付証明書、自賠責証明書を入れ、サドル下に右記のように取り付けてください。
サドル下フレームの右記の丸印の位置に取り付けてください。

※写真はナンバープレートを外した状態です。



<任意保険>

事故の程度によっては、自賠責保険だけでは費用が対応できない場合がございます。
つきましては、任意保険 (一般的なバイク保険) へのご加入も推奨いたします。
既に自動車保険にご加入の場合は、その自動車保険の特約で附帯されることもあります。
ご加入の自動車保険の窓口にお問い合わせください。
自動車保険にご加入されていない場合は、販売店や最寄の保険会社窓口にお問い合わせください。

電動アシスト付自転車の運転経験がない方は、最初は慣れが必要です。
普通の自転車同様に漕いでしまうと、モーターがアシストして急発進・急加速となってしまい、たいへん危険です。
原付が乗り入れられる広い安全な場所で、少し慣らし運転をしてください。
ペダルを漕ぐ際も、モーター走行する際も急発進、急加速をしないでください。

⚠ 警 告

片足をペダルに載せ、もう片方の足で地面を蹴って助走をつけ、その勢いで一気にまたがってサドルに乗る行為、いわゆる「ケンケン乗り」は、たいへん危険ですので絶対にやらないでください。

⚠ 警 告

また運転する際は、必ずスタンドを跳ね上げて走行してください。スタンドを跳ね上げないで走行すると、段差等でスタンドが接触し、場合によっては転倒するおそれもあり、たいへん危険です。

ブレーキ

●乗車する際は、車両が動いてしまわないよう、左右のブレーキレバー引きながら (かけながら) またがってください。
●ブレーキは、制動力を高めるため前輪 (右側ブレーキレバー) と後輪 (左側ブレーキレバー) を同時に使ってください。
●また急ブレーキは、タイヤをロックさせてしまい、転倒するなど安定性を損なうおそれがありますのでご注意ください。
●ブレーキをかけたままの運転はしないでください。ブレーキの温度が上昇し、制動力が減少し、効きが悪化し危険です。

雨天の運転

●水たまりを避けて走行してください。
●やむを得ず水たまりを走行する際は、十分減速し、歩行者等周囲に水を跳ねさせないでください。
●水たまりを走行すると、ブレーキが濡れることで制動力が低下します。軽くブレーキをかけながら、低速走行する等でよく乾かしてください。
●激しい雨の時は運転をしないでください。

折り畳み方と組み立て方

■折り畳み方

❶インフォーメーション・ディスプレイのスイッチでパワーオフします。

→必ずパワーオフを実施してください。

→指紋認証鍵で後輪をロックすることでもパワーオフができますが、折り畳みの最後の調整時に後輪が動かなくなってしまいます。

そのため、インフォメーション・ディスプレイのスイッチで、パワーオフします。

これにより、後輪がロックされない状態でパワーオフとなります。

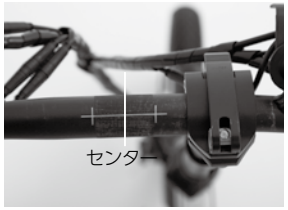
❷サドル調整レバーで、サドルの前後を逆にします。



❸同じくサドル調整レバーを手前に引いて、サドルを一番下まで下げます。

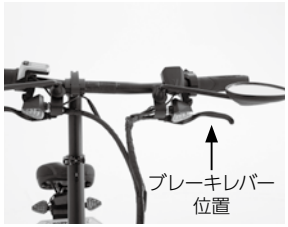
・サドルを下げたら、サドル調整レバーを元に戻します。

❹ハンドル調整レバーでハンドルを緩め、ハンドルのセンター位置を右端にずらします。



❺同時にブレーキレバーの位置を真下に向けます。

・ここまで完了したら、ハンドル調整レバーを元に戻します。

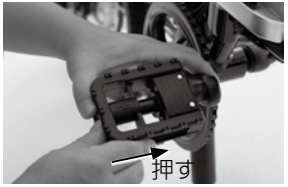


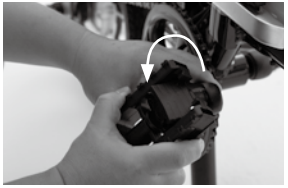
❻ハンドル高さ調整レバーを手前に引いて、ハンドルを一番下まで下げます。

・ハンドルを下げたら、ハンドル高さ調整レバーを元に戻します。

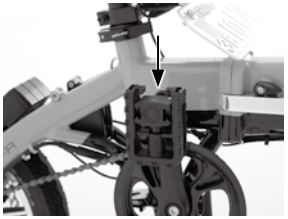


❼ペダルを畳みます。
・ペダルを車体側 (クランク側) に押して、ペダルを畳みます。畳み方はペダルの向きによって、上側か下側のどちらかの一方になります。

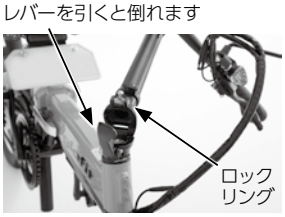




・ペダルを畳んだら、右側のペダルが 12 時の位置になるよう向きを調整してください。
ここでペダルの位置を調整しないと、この後の過程でハンドルと干渉してしまいます。


ペダル位置→ 12 時の位置

❽ハンドルを左側に折るように畳みます。
・ハンドル倒立レバーのロックリングを左側 (反時計回り方向) に回し、ロックを解除します。
・ロックを解除したら、ハンドル倒立レバーを手前に引き、ハンドルを左側に倒します。
・ハンドルを畳んだら、ハンドル倒立レバーを元に戻します。

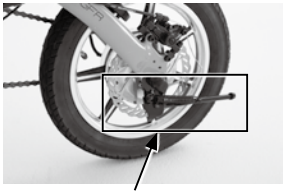




❾バックミラーが地面にあたらないよう、手で動かして位置をずらします。



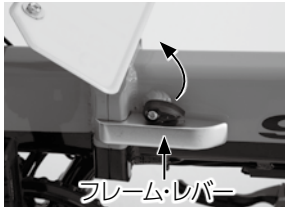
❿スタンドを跳ね上げます。
→この時点で本体は自立できなくなるので注意してください。


スタンド跳ね上げ ※転倒注意

⓫フレームを車体左側が内側になるよう折り曲げます。

・車両右側面にある黒色のフレーム・ロックを反時計回りにまわして、ロックを解除します。

・車両右側面にある銀色のフレーム・レバーを手前に引くと折り曲がります。




フレーム・レバーを手前に引いた状態







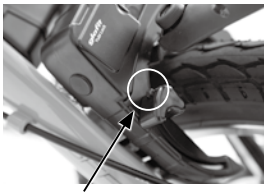


折り畳み状態

⓬このタイミングで必要に応じてバッテリーを取り外してください。
→バッテリーの取り外し方法は、P21 を参照

⓭指紋認証鍵で後輪をロックします。

・ロックレバーを下方向にさげると、カチッとロックされます。



ロックは、ロックレバー上部のボタンを押しながらさげます。ボタンを押さないとロックレバーはさがりません。





⓮付属の固定バンドで前輪と後輪を留めます。



折り畳み完了

⚠注 意

＜注意事項＞

前提：(1) バッテリーが装着されている場合

(2) 指紋認証鍵で後輪がロックされていない状態

フレームを折り畳むと、フレーム内のバッテリー接点が離れるので電源が遮断されます。

その後また組み立てると、フレーム内のバッテリー接点が接続され、自動的にパワーオンとなります。

→インフォメーション・ディスプレイのスイッチ操作で、パワーオフしていてもパワーオンされてしまいます。

従って折り畳み作業が完了した後は、盗難防止のためにも、忘れずに必ず指紋認証鍵で後輪をロックしてください。

※本体のバッテリーと指紋認証鍵システムの電源は別系統となっています。

■組み立て方

❶前輪と後輪を留めている固定バンドを取外します。

❷バッテリーを取り外している場合は、バッテリーを装着してください。

❸フレームを展開します。

・フレームを展開したら、フレーム・レバーを留め、車両右側面にある黒色のフレーム・ロックを時計回りにまわしてロックします。

❹スタンドを下げて本体を自立させます。

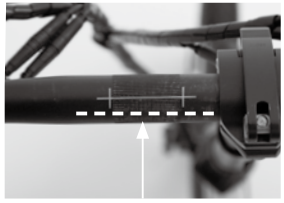
❺ハンドル倒立レバーを手前に引き、ハンドルを立てます。

❻ハンドル倒立レバーのロックリングを右側 (時計回り方向) に回し、ロックします。

❼ハンドル高さ調整レバーを手前に引いて、ハンドルの高さを調整します。ハンドル・ポストの [MAX] より高い位置まで引き出さないでください。[MAX] より下の位置 ([MAX] の文字が隠れる高さ) に調整してください。



❽ハンドル調整レバーを引いて、ハンドルをセンター位置に合わせます。


この間にハンドル位置を調整します

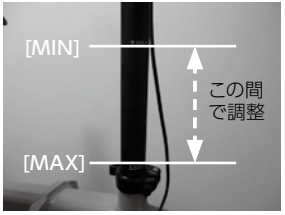

ハンドル位置をセンターにした状態

❾同時にブレーキレバーを真下の位置から前方側に向けて、握りやすい位置に調整します。

・ここまで調整したら、ハンドル調整レバーを元の位置に戻します。



❿サドルの向きと高さを調整します。サドル調整レバーを手前に引いて、サドルの向きを前方側に回転させます。続いてサドルの高さを調整します。サドルの高さは、[MIN] と [MAX] の間の位置で調整してください。



⓫指紋認証鍵でロックを解除します。

→指紋認証鍵の操作方法は、P16 ～ 18 を参照。

組立完了

インフォメーション・ディスプレイが点灯し、ヘッドライト、ナンバーライト、ブレーキランプ（スモールランプ）の点灯を確認できたら走行可能です。

→同時にホーンが鳴動するか、左右ウィンカーが点滅するかも確認してください。

インフォメーション・ディスプレイ

パワー・オン状態



速度表示 (km/h)

状態表示

ODO 総走行距離
オドメーター

TRIP 走行距離
トリップメーター

走行距離表示
※表示切替ボタンによって、表示内容は切り替わります。この場合は、総走行距離を表示しています。

走行モード表示

ECO ペダル走行モード

MID 弱 ハイブリッド走行／電動バイク走行モード

HIGH 強 ハイブリッド走行／電動バイク走行モード

バッテリー残量表示

- 4 個点灯 約 100 ～ 70%
- 3 個点灯 約 70 ～ 50%
- 2 個点灯 約 50 ～ 30%
- 1 個点灯 約 30% ～

充電を推奨します。
続けて走行される場合は ECO モードに切り替えてください。但し、バッテリー残量がゼロになってしまいますと、ウィンカー、ブレーキランプ、ヘッドランプ等灯火類が点灯しなくなり、法的に整備不良となり走行できなくなりますのご注意ください。なおこの状態での ECO モードは、バッテリー残量が少ないため走行距離が短くなりますので、その点もご注意ください。

❷表示切替ボタン

❶パワースイッチ (ON/OFF)

❸走行モード切替ボタン

⚠ 警 告

バッテリー残量は、必ず停車して確認してください。

❶パワースイッチ

指紋認証鍵にてロック解除状態で、パワーオン／オフができます。
オン／オフの際は、長押ししてください。

❷表示切替ボタン

表示切替ボタンを押すと、以下の順に表示が切り替わります。



ODO オドメーター（総走行距離）

TRIP トリップメーター（走行距離）

バッテリー電圧 (V) 表示

こちらの表示は使用しません

・オドメーターはリセットできません。・トリップメーターは、パワーオフするごとにリセットされます。

❸走行モード切替ボタン

走行モード切替ボタンを押すと、以下の順に走行モードが切り替わります。
毎パワーオン時は MID になっています。



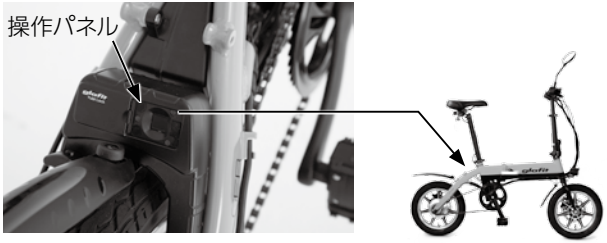
MID 弱 ハイブリッド走行／電動バイク走行モード

HIGH 強 ハイブリッド走行／電動バイク走行モード

ECO ペダル走行モード

指紋認証鍵

指紋認証鍵は、指紋を登録し、その指紋で後輪のロック解除と同時にパワーオン及び、後輪のロックをするシステムです。



操作する時は

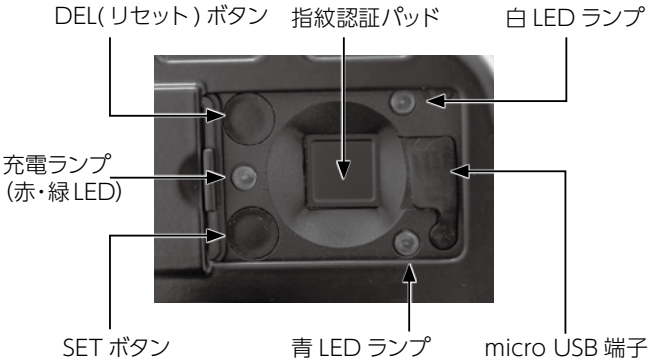


指紋認証鍵の操作パネルは、左図のシャッターを左にスライドさせると現れます。

⚠注 意

指紋認証鍵の操作終了後は、必ずこのシャッターを右にスライドさせて閉じてください。

操作パネル



■指紋認証には、管理者と使用者の 2 系統で登録します。
- 管理者：「指紋の登録」と「開錠」「登録リセット」
- 使用者：「開錠」

■指紋の登録
- 全部で 20 個の指紋が登録できます。
- 登録順で 1 番目～ 3 番目の登録は、「管理者」となります (3 個の指紋登録が可能)
- 登録順序 4 番目～ 20 番目の登録が「使用者」となります (17 個の指紋登録が可能)

※登録する指紋の数量は、人数ではありません。
※一人でも、人差指、中指、薬指等複数個の指紋を登録することができます。

指紋認証鍵の充電

指紋認証鍵は、独自でバッテリーを内蔵しています。
そのため、こちらを充電する必要があります。
その充電サイクルは、1日5回程度の開閉で約2年ごとが目安です。
※但し、開閉頻度、気温・気圧等使用環境によって異なります。



micro USB ケーブル

充電中は、認証パッド左側の充電ランプが赤に点灯します。
充電が完了すると赤から緑に点灯します。
満充電までの時間は、およそ3時間程度です。

充電は、操作パネルにある micro USB 端子にケーブルを接続し、AC コンセントにて実施します。
micro USB ケーブルは、市販のスマートフォン用などを別途ご用意ください。

初期設定

●指紋登録前の初期設定状態では、どの指紋でも開錠できます。

[管理者の登録]

❶ロックを開錠します
・SET ボタンを1回押します (白と青の LED ランプが点滅)。
→指紋認証後は、青 LED ランプのみが点滅します。
・指紋認証パッドにいずれかの指をあてます (ピッピッと2回鳴動し、白と青の LED ランプが点灯)
・開錠します (→開錠と同時にパワーオンとなり、インフォメーション・ディスプレイの電源がオンになり、ヘッドライトとブレーキランプ内のスモールランプ、ナンバーライトが点灯します)
❷ SET ボタンを1回押します (白と青の LED ランプが点滅)
❸再度 SET ボタンを1回押します (ピッと鳴動し、白 LED ランプが点滅)
❹指紋認証パッドに、登録する管理者の指紋をあて認証させます (ピッと鳴動します)
❺❹を7回繰り返します (計8回の指紋認証) ※1～7回目までピッと鳴動し、8回目はピッピッと鳴動します
❻白 LED ランプが5秒点滅
❼青 LED ランプが5秒点滅
❽登録完了

[2 番目以降の指紋登録]

❶ ロックを開錠します→開錠方法は右記を参照
※開錠していれば❷に進みます
❷ SET ボタンを 1 回押します (青 LED ランプが点滅)
❸ 再度 SET ボタンを 1 回押します (ピッと鳴動)
❹ 指紋認証パッドに、既に登録した管理者の指紋をあて認証させます (ピッピッと鳴動し、白 LED ランプが点滅)
❺ 登録したい指紋を、指紋認証パッドにあてて認証を 8 回繰り返します
※ 1 ～ 7 回目まではピッと鳴動し、8 回目はピッピッと鳴動します
❻ 白 LED ランプが 5 秒点滅
白 LED ランプが点滅中であれば、❺に戻り続けて追加指紋登録ができます。
❼ 青 LED ランプが 5 秒点滅
❽ 登録完了

登録指紋リセット方法

❶ ロックを開錠します
❷ SETボタンを1回押します(青LEDランプが点滅)
❸ 再度SETボタンを1回押します(ピッと鳴動)
❹ DELボタンを押します(ピッと鳴動)
❺ 指紋認証パッドに、管理者の指紋をあて認証させます(白LEDランプが点灯し、その後白と青のLEDランプが点滅)
❻ リセット完了

開錠方法



❶ SET ボタンを 1 回押します (青 LED ランプが点滅)
→指紋登録が未設定の時は、青と白の LED ランプが点滅します。



❷指紋認証パッドに、登録した指紋をあて認証させます (ピッピッと鳴動し、白 LED ランプが点灯)
→指紋登録が未設定の時は、青と白の LED ランプが点灯します。


開錠状態

❸開錠します
→開錠するとパワーオンとなり、インフォメーション・ディスプレイの電源がオンになり、ヘッドライトとブレーキランプ (スモールランプ) が点灯します。

glafit®

" グラフィット" と読みます。
glafit は、”glad”と”fit”という
二つの単語からの造語です。



glafit について

『日本を代表する次世代乗り物メーカーになる！』ことを目指し、
この glafitブランドを創りました。
”glad”と”fit”に込めた想いを、私たちの製品・サービスを
日本中、そして世界中の人々にお届けしたいと思っています。
glafitのスピリットは
『funride(ファンライド) & fundrive(ファンドライブ)』です。
これは、私たちの知識・技術・アイデアを常に向上させ、
それを最大限に生かすことで、
安心・安全・便利・快適・愉快といった付加価値を創造し、
お客様の乗り物を単なる移動手段ではなく、
驚き、感動し、そして笑顔になっていただける
『funride & fundrive』へ導きたいと願っているものです。

これまで 15 年以上自動車・バイク関連用品の
企画・製造に取り組んできた経験をもとに、
満を持して、かねてからの夢であった
『finride&fundrive』の精神を細部まで詰めこんだ、
次世代型乗り物となるハイブリッドバイク「glafit バイク」を
世の中に送り出しました。
glafit バイクのある生活をお楽しみください。

バッテリーの取扱い

バッテリーはリチウムイオン電池を使用しています。
車両本体、フレームに内蔵されています。
バッテリーの取扱いにおいては、火災や感電を防ぐため右記のことにご注意ください。

⚠警 告

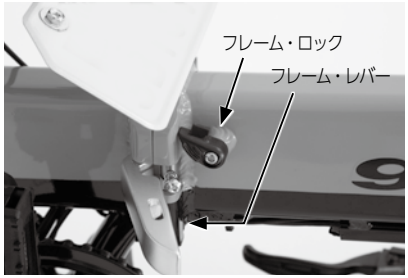
- ●バッテリーを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- ●バッテリーに水をかけたり、水の中に入れないでください。
- ●バッテリーを分解しないでください。
- ●バッテリーを加工、改造などをしないでください。
- ●バッテリーを火器類に近づけないでください。
- ●バッテリーケースに破損があったり、凹みがあった場合は使用しないでください。
- ●バッテリーを当製品以外に使用しないでください。



バッテリーの取り外し方

バッテリーは、バッテリー取外しキーを使用して取り外します。
バッテリー取外しキーは予備を含め 2 本が付属されています。なくさないようにしてください。

＊バッテリーを取り外す際は、必ずパワーオフした状態で作業をしてください。



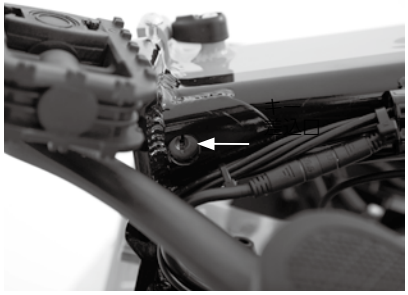
①車両右側面にある黒色のフレーム・ロックを反時計回りにまわして、ロックを解除します。

※写真は折り畳み時なので、サドルの前後が逆になっています。

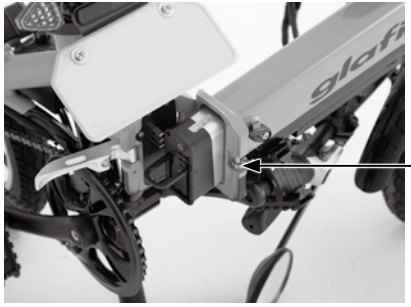


②車両右側面にある銀色のフレーム・レバーを手前に引くと、フレームが折曲ります。

※写真は折り畳み時なので、サドルの前後が逆になっています。



③フレーム下側にある、バッテリー取外しキー差込口に、バッテリー取外しキーを差し込み、右に回しロックを解除します。



④フレームから、バッテリーを抜き取ります。



※写真は折り畳み時なので、サドルの前後が逆になっています。

バッテリー充電方法

バッテリーへの充電は、付属の専用充電器を使用して、ご家庭の AC コンセント (100V) からできます。



付属の専用充電器

⚠ 警 告

付属の専用充電器以外はご使用にならないでください。

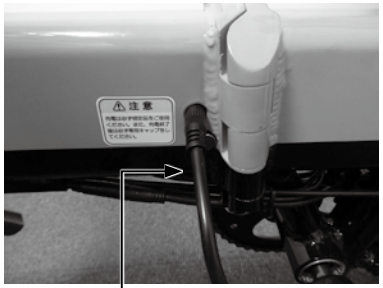


充電口 車両左側フレーム

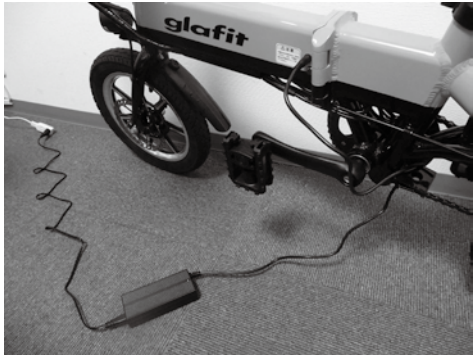


充電口

黒いキャップを外してください。
この際、キャップをなくさないようご注意ください。キャップは予備が 1 個付属されています。



充電口に付属の専用充電器の端子を接続してください。



充電口に充電器を接続したら、プラグを AC コンセントに接続してください。
充電が開始されます (充電器のインディケーター LED ランプが赤色に点灯します)。

→ フル充電で約 4 ～ 5 時間です

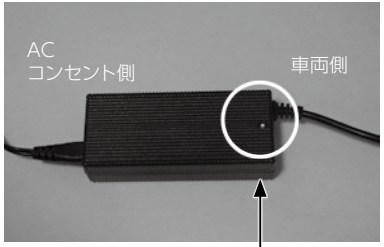
→ **充電器のインディケーター LED ランプが緑色に点灯もしくは点滅したら充電完了です**

⚠ 注 意

充電中は、充電器が熱くなります
外気温が約 30 度の時、本体は約 60 度まで温度が上昇します

充電状況

充電状況は、充電器のインディケーターでわかります。
●緑色 LED ランプ点灯：待機中 (AC コンセント接続状態)
●赤色 LED ランプ点灯：充電中
●緑色 LED ランプ点灯または点滅：充電完了



充電器インディケーター (LED ランプ)

⚠ 警 告

● glafit バイク GFR-01 のバッテリー以外で使用しないでください。
●充電完了後は出力を停止しますが、安全のため充電終了後は AC コンセントからケーブルは抜いてください。
●水に濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
●分解や改造をしないでください。

各部の操作方法

■サドルの調整



サドル調整レバーを引いて、サドルの高さを調整してください。サドルにまたがった状態で、両足のつま先が地面に設置する高さに調整してください。



サドルを調整する際、サドル下の表示で MAX と MIN の間の範囲で設定してください。

■ハンドルの調整

「5. 折り畳み方と組み立て方」の「組み立て方」のページ (P13) を参照し、ハンドルのセンターと高さを調整してください。

■パワーオン／オフ

<パワーオン>

ペダル走行モード (ECO モード／ P31 ～ P32 参照) で運転する場合でも、必ずパワーオンしてください。

パワーオンは、指紋認証鍵 (P16 ～ P18 参照) にて、ロックを解除してください。ここで開錠されることでパワーオンとなります。

<パワーオフ>

インフォメーション･ディスプレイ (P14～P15参照) のパワースイッチを長押しすることでパワーオフできます。

その後、指紋認証鍵のロック・レバーで後輪をロックしてください。

注意 **車両から離れる時は盗難防止のため、後輪をロックしてください。**

■ヘッドライト

パワーオンすることで、自動的に点灯いたします。
日中でも安全のため、ヘッドライトは点灯したままとなります。

■ウィンカースイッチ(方向指示器)



ハンドル左グリップにウィンカースイッチ(方向指示器) が装着されています。
ウィンカースイッチを右にすると、右ウィンカーが点滅します。同様に左にすると左ウィンカーが点滅します。
右左折後、ウィンカースイッチは中央の○印の位置に戻してください。

■ホーン(警笛)



ウィンカースイッチと同様に、ハンドル左グリップにホーンボタンが装着されています(ウィンカースイッチの下)。
このボタンを押すとホーンが鳴動します。
押している間、ホーンは鳴動し続けます。
なお、ホーンは電子ホーンです。

■スロットル



ハンドル右側グリップの左側とインフォメーション・ディスプレイの間にスロットルが設置されています。
このスロットルを、右手の人差し指と親指で挟み、手前方向に回すとスロットル・オンとなり、モーター走行ができます。

インフォメーション・ディスプレイの走行状態表示が ECO の場合は、ペダル走行モードですのでスロットルを回してもモーター (電動) 走行にはなりません。

⚠危険

急発進は、たいへん危険ですので絶対にしないでください。

■走行モード切替

インフォメーション・ディスプレイの走行モード切替ボタン M を押すと、走行モードが MID から HIGH 、 ECO と順に切り替えられます。

→パワーオン時は常時 MID になっています。
この切り替えは走行中に可能です。
必要に応じて走行モードを切り替えて運転してください

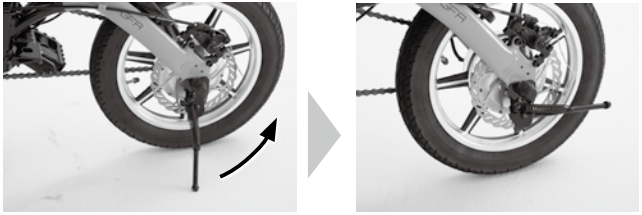
→インフォメーション・ディスプレイ P14 ～ P15 参照

■ペダル



どの走行モードでも、ペダルを漕いで発進できます。
但し、走行モードが HIGH の時は、力強く発進しますので運転には十分注意してください。

■スタンド ～ 走行時

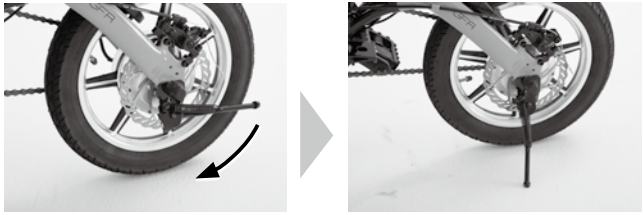


走行時は、スタンドを足で反時計回り方向に跳ね上げてください。
跳ね上がると、スタンドは水平方向の位置になります。

⚠危険

走行時は、必ずスタンドを跳ね上げてください。走行中、段差や凹凸があるとスタンドが接触し、たいへん危険です。

■スタンド ～ 駐車時



駐輪する時は、足でスタンドを立てて車体が倒れないようにしてください。
水平方向に跳ね上げられているスタンドを、足で時計回り方向に下げることでスタンドを立てられます。



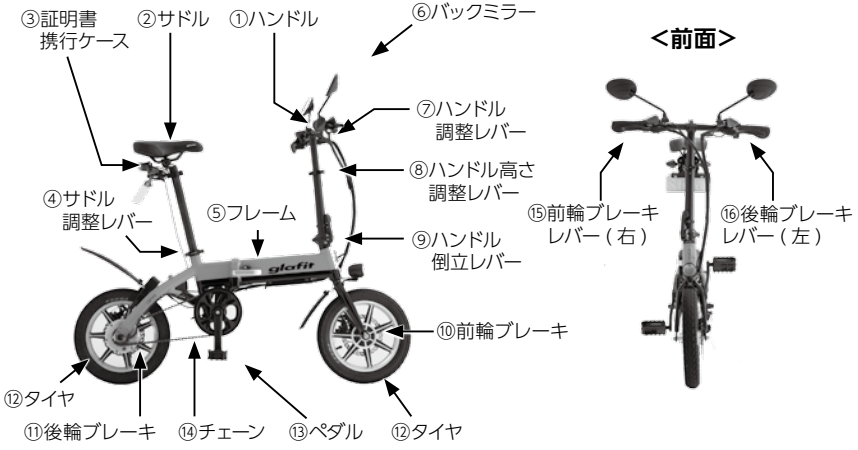
■USBポート(オプション)

USB ポートが装着されている場合は、USB コネクターを接続することでスマートフォン等に電源供給ができます。
防水キャップを外すと USB 端子がありますので、お手持ちの USB ケーブルを接続してください。
(USB の出力は、2.1A と高出力です。大容量のスマートフォンも素早く充電が可能です。)

運転前点検

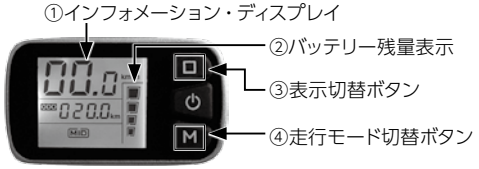
運転前には必ず点検を実施してから走行してください。
異常が発見されたり、不明点が見つかった場合は、必ず販売店へご相談ください。
まず最初にパワーオンしない状態で点検し、その後パワーオンした状態で点検作業を実施してください。

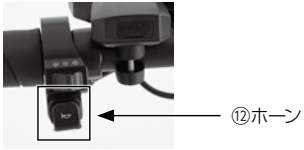
■パワーオンしない状態での点検

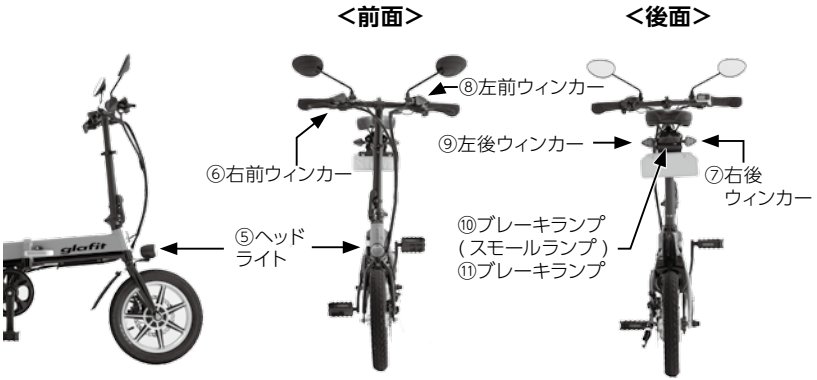


	点検ヶ所	点検内容
①	ハンドル	センターが合っているか? ガタついていないか?
②	サドル	前後の向きがあっているか? ガタついていないか? 回転しないか?
③	証明書 携行ケース	携行ケースがサドル下に取り付けられ、自賠責加入証が入っているか?
④	サドル調整 レバー	レバーはしっかりとロックされているか? サドルが下がらないか? 高さが合っているか (MIN と MAX の間の位置になっている)?
⑤	フレーム	フレーム・ロックされているか? フレームレバーが開いていないか?
⑥	バックミラー	後方をしっかりと視認できるよう調整されているか?
⑦	ハンドル 調整レバー	レバーがしっかりとロックされているか? ブレーキレバーがしっかりと握れるか?
⑧	ハンドル高さ 調整レバー	レバーがしっかりとロックされているか? さがらないか? 高さが合っているか (MIN と MAX の間の位置になっている)?
⑨	ハンドル 倒立レバー	レバーがしっかりとロックされていてるか?
⑩	前輪ブレーキ	ブレーキに異物等が挟まっていないか? ブレーキパッドがすり減ってないか?
⑪	後輪ブレーキ	ブレーキに異物等が挟まっていないか? ブレーキパッドがすり減ってないか?
⑫	タイヤ (前輪／後輪)	タイヤの溝がすり減ってないか? (1mm になったら交換)、タイヤに傷等はないか? 空気が減ってないか? (適正空気圧:3.2bar 320kPa)
⑬	ペダル	ガタつきはないか? 正しく取り付けられているか?
⑭	チェーン	切れていないか? 摩耗していないか? たるんでいないか?小石その他異物が挟まっていないか?
⑮	前輪ブレーキ レバー	ブレーキレバーを握り、車体を前後にゆすり前輪が動かないか?
⑯	後輪ブレーキ レバー	ブレーキレバーを握り、車体を前後にゆすり後輪が動かないか?

■パワーオン状態での点検







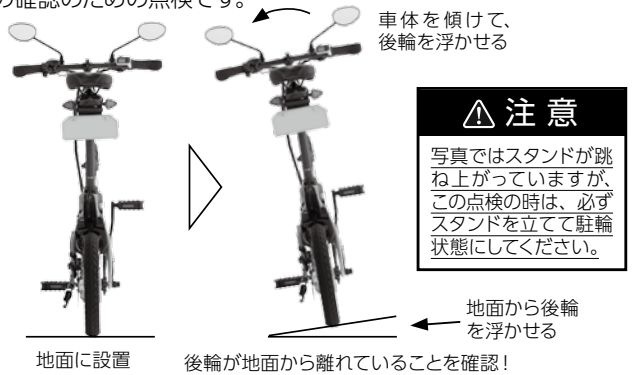
	点検ヶ所	点検内容
①	インフォメーション・ディスプレイ	バックライトが点灯し、ディスプレイが表示されているか?
②	バッテリー残量表示	バッテリー残量を確認し、残量表示が 1 個だったら充電してください。但し、ECO モード (ペダル走行モード) での走行はできます。その場合、走行距離が短くなるので注意してください。
③	表示切替ボタン	ボタンを押して表示内容が切り替わっているか? (切り替わり内容は P15 参照)
④	走行モード切替ボタン	ボタンを押して表示内容が切り替わっているか? (切り替わり内容は P15 参照)
⑤	ヘッドライト	点灯しているか?
⑥	右前ウィンカー	ウィンカースイッチを右にして、右前ウィンカーランプが点滅しているか?
⑦	右後ウィンカー	ウィンカースイッチを右にして、右後ウィンカーランプが点滅しているか?
⑧	左前ウィンカー	ウィンカースイッチを左にして、左前ウィンカーランプが点滅しているか?
⑨	左後ウィンカー	ウィンカースイッチを左にして、左後ウィンカーランプが点滅しているか?
⑩	ブレーキランプ (スモールランプ)	スモールランプが点灯しているか?
⑪	ブレーキランプ	右ブレーキレバーを握ると点灯するか (スモールランプより明るく)?
		左ブレーキレバーを握ると点灯するか (スモールランプより明るく)?
⑫	ホーン	ホーンボタンを押して、押してる間ホーンが鳴動しているか?

⚠危険

パワーオン状態で、スロットルを回さないでください。
スロットルを回すと、車両が動き出してしまいたいへん危険です。

■モーター走行時にペダルが動かないかの確認

→モーター走行中に、ペダルが動いてしまうと危険なので、その確認のための点検です。



⚠注意

写真ではスタンドが跳ね上がっていますが、この点検の時は、必ずスタンドを立てて駐輪状態にしてください。

①**スタンドが駐輪状態であることを確認してください。**

→[重要] 後輪を浮かせたいので、スタンドを支点として車体を傾けてください。

②車体左側に立ち、左手でハンドル左グリップを持ち、サドルを右手で持ちます。

③車体を体側 (手前) に引き寄せ、斜めにします。

④斜めにすることで、後輪が地面から離れます (浮きます)。

⑤**後輪が地面から離れている状態を確認してください。**

⑥**ペダルの回転範囲より外に立っていることを確認してください。**

⑦右手でハンドルのスロットルを回してください。

→この時、ブレーキを握っていると後輪は回転しません。

⑧浮いている後輪が回転します。

⑨**この時、後輪の回転と一緒にペダルが動いていないことを確認してください。**

→ペダルが動いてしまったら、走行が危険なので運転はせず、直ちに販売店で点検・修理を受けてください。

⑩確認できたら、後輪ブレーキレバー (左) をかけて後輪の回転を止めてください。

⑪後輪が停止したのを確認したら、車体を元の駐輪状態に戻してください。

⑫点検終了です。

⚠危険

この点検の際は、必ず後輪が地面から離れていることを確認し、後輪が浮いている状態で点検してください。
後輪が地面に接していると、車体が動いてしまい、たいへん危険です。

⚠危険

ペダルが動いてしまった場合、脚にあたってしまうと危険なので、必ずペダルの回転範囲外に立って点検してください。

⚠危険

点検が終了したら、必ず後輪の回転が停止していることを確認して、車両を元の駐輪状態に戻してください。
後輪が回転中に、地面に接したら車両が動いてしまいたいへん危険です。

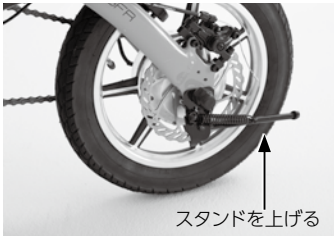
運転方法

乗車する際

●指紋認証鍵で後輪のロックを解除し、パワーオンしてください。

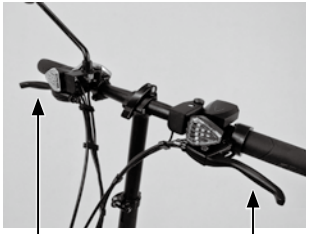
●乗車する前に、スタンドを跳ね上げてください。

●乗車する際は、車両の左側からまたがるようにしてください。
その際、**必ず左右のブレーキレバーを握り、ブレーキをかけ、車両が動かないようにしてください。**
またその時、**ハンドル右側のスロットルには触らないでください。**



⚠危険

乗車時、スロットルには絶対触らないでください。
→パワーオンした際、走行モードは MID になっています。そのため、スロットルを回すと車両は動きだしてしまいます。





走り始め

まず、インフォメーション・ディスプレイを見て、走行モードを確認してください。走行モードの MID と HIGH の時は、**ペダルを漕いでも、スロットルを回しても走行ができます。**



MID 出力弱 → ペダルで漕ぐとモーターが出力弱でアシストします。もちろんモーター出力だけでも走行できます。

HIGH 出力強 → ペダルで漕ぐとモーターが出力最大でアシストします。もちろんモーター出力だけでも走行できます。

ECO ペダル走行 → モーターはアシストしません。自転車としての走行モードですので、ペダルを漕がないと進みません。保安部品の電装品は作動しています。

⚠警告

HIGH だと出力が最大なので、走り始めは力強く発進しますので、急発進にならないよう注意して、ゆっくりと操作してください。

駐輪

平坦な地面で、後輪のスタンドを下げて駐輪してください。また、盗難防止のためにも必ず指紋認証鍵で施錠してください。

⚠注意

駐輪する際は、駐車違反にならないよう駐輪場をご利用ください。または、二輪車が駐輪可能な、定められたところで駐輪してください。なお当製品は原付車ですので、自転車専用駐輪場には駐輪できません

ECO＝ペダル走行モード　　**MID＝電動出力･弱モード**　　**HIGH＝電動出力･強モード**



ペダルで漕がないと走行しません。

- ECO モードでの走行でも、パワーオンする必要があります。
- ペダル走行モードでも原付車なので、右左折時はウィンカー操作が必要です。
  同時に、ヘルメットの着用と、運転免許証の携帯が必要です。

ハイブリッド走行／電動バイク走行モードです。
ペダルで漕がなくても、スロットルを回すことで、モーターのみの走行ができます。
速度 10km/h まで。

- スロットルを操作しなくても、ペダルを漕ぐと自動的にモーターも駆動し、運転をアシストします。
- ただ出力が弱いので、ペダルと併用することでより速く走行することができます。
- 走行中、ブレーキレバーを握ると、自動的にスロットルがオフになります。

ハイブリッド走行／電動バイク走行モードです。
モーターの出力が最大ですので、ペダルを漕がなくても十分な走行が可能です。
速度 30km/h まで。

- スロットルを操作しなくても、ペダルを漕ぐと自動的にモーターも駆動し、運転をアシストします。
- 急坂等の登りではペダルを漕ぐことにより、スムーズに走行がすることができます。
- 走行中、ブレーキレバーを握ると、自動的にスロットルがオフになります。
- HIGH モードでの走行や急坂走行が多いと、バッテリーの消耗が激しくなり、走行距離が短くなります。

⚠ HIGH モードでは、ペダルをゆっくり漕いでも力強く発進しますので､注意してください。

バッテリー状態による走行注意点

- バッテリー残量表示が 1 個になったら、もしくは点滅したら、ECO モードに切り替え、充電をしてください。走行はできますが、走行可能距離が短くなりますのでご注意ください。
- 要充電の状態でも、ヘッドライト及びウィンカー、ブレーキランプ、ホーンは機能します。
- バッテリー容量がゼロになると、ヘッドライトやブレーキランプが点灯せず、ウィンカーも作動せず、ホーンも鳴らなくなります。この状況では整備不良となり、法令違反となりますので、直ちに運転を中止し (走行禁止)、充電をしてください。
- バッテリー残量によって、最高速度とパワーは低下します。
- **バッテリーの消耗は、運転の仕方、走行状態、気温、気圧等で変化します。それによって走行距離や、最高速度は変化します。**

運搬

運搬する際は、折り畳んだ状態でフレームを持って運搬してください。



●電車やバスに持ち込む場合は、ケースや輪行袋などに入れて、車体が露出しないようにしてください。
そして周囲の人に当たらないよう十分な配慮をしてください。
また、ご乗車される交通機関に事前に問合せをし、持込についてを確認してください。

●自動車で運搬する際は、積み込む時に車両にぶつけないよう気を付けてください。

○航空機には、リチウムイオン電池を装備しているため持ち込めません。

保管

保管する際は、盗難やいたずらなどされないよう安全な場所に保管してください。
また、下記のような保管に適した場所をお勧めします。
●平坦なところ
●風雨にさらされないところ
●風通しのよいところ
●湿気のないところ
●直射日光があたらないところ

屋外で保管される場合は、雨水などから保護のため、カバーなどを掛けてください。

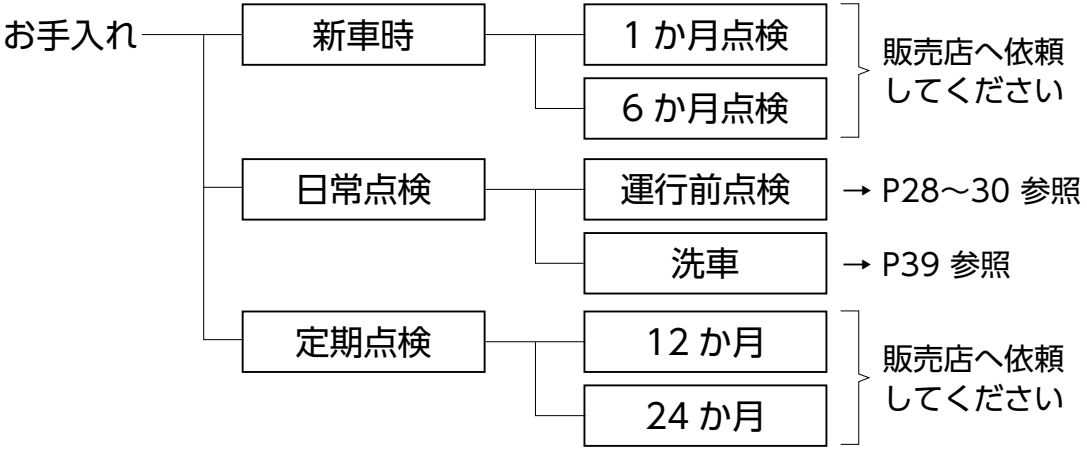
長期間ご使用にならない場合は、バッテリーを取り外し、風通しのよい涼しい所に保管してください。
また長期間ご使用にならなかった後の運転は、運行前点検をしっかりと実施してからご使用してください。
その際バッテリーは自然放電しているため、改めて満充電をしてご使用ください。

お手入れ

安全に glafit バイクをお使いいただくためにも、お手入れは欠かさないでください。
お手入れには日常的な運行前点検と定期点検があります。
安全にお使いいただくために、お手入れは必ず実施してください。

⚠ 警 告

誤った、あるいは不適当な点検や整備、そして未修理は、事故等トラブルを発生させる原因となります。
そして人の死亡、もしくは重傷を負う可能性があります。
正しくお手入れを実施してください。



基本的な点検事項

ブレーキ

以下の現象が発生したら、販売店へ点検及び修理、部品交換等を依頼してください。

●新車時、もしくはいつもより、ブレーキレバーのあそびが大きくなった

●ブレーキレバーを強く握らないと制動しなくなった

●停車時、ブレーキレバーを握った状態で、車両を前後にゆすると動いてしまう (タイヤが回転してしまう)

注油

下記の部分については、適宜金属潤滑剤を注油して、回転を滑らかにしてください。



バッテリー

バッテリーは、自然放電します。

ご使用にならない場合でも、1か月に1度は満充電をしてください。

タイヤ

以下の現象が確認できたら、販売店へ点検及び修理、交換等を依頼してください。

●空気圧の低下 (タイヤがしぼんできた、地面への接地面がたるんできた、タイヤを押すと柔らかい等)

→空気圧は、時間が経過すると低下してきます。必ず点検してください。

→エアーバルブは、電動バイク用タイヤ (チューブ入り) を装着しているため、自動車もしくは二輪車用等の、空気圧が確認できる空気入れ (エアーコンプレッサー) を使用して、空気圧を調整してください。自転車用空気入れでも、エアーバルブに正しく接続できれば使用できます (空気圧が確認できることが必要です)。空気圧は、適正空気圧を目安に、お使いの空気入れのゲージ単位に合わせてご確認ください。

●亀裂や損傷がある

●偏摩耗している

●溝が 1mm 以下となっている

＜適正空気圧＞
3.2bar or 320kPa

⚠ 警 告

空気圧が適正でないタイヤや、極度にすり減ったタイヤの使用では、転倒等、事故やトラブルを発生させる原因となり、死亡、もしくは重傷を負う可能性があります。
指定以外のタイヤを装着すると、操縦安定性に支障が発生し、転倒等、事故やトラブルを発生させる原因となり、死亡、もしくは重傷を負う可能性があります。
必ず販売店で指定のタイヤに交換してください。

もしもの時〜トラブルシューティング

「故障かな?」と思ったら、まずは以下をご確認ください。改善しない場合、わからない場合は、販売店へご相談ください。

■指紋認証鍵が作動しない

・ [SET] ボタンを押しても LED ランプが点灯しない

→指紋認証鍵本体のバッテリー切れの可能性があります。micro USB ケーブルを接続し、充電をしてください (充電時間: 約 3 時間程度)

※充電方法は P17 参照

※フレームに内蔵のバッテリーと指紋認証鍵は別バッテリーとなっています。

・ 指紋認証鍵エマージェンシーキー使って、指紋認証鍵を開錠してください。

※開錠方法は右記を参照

■インフォメーション・ディスプレイがオンにならない

・ インフォメーション・ディスプレイのパワースイッチを長押ししてください

・ 指紋認証鍵で開錠してください

※指紋認証鍵で開錠されていないと、インフォメーション・ディスプレイのパワースイッチでのオン／オフはできません。

指紋認証鍵エマージェンシーキーの使い方

指紋認証鍵本体の左側面に、指紋認証鍵エマージェンシーキーの差込口があります。 この差込口は、防水用のゴムキャップが装着されています。



⚠注意

外したゴムキャップはなくさないようにしてください。 また、キーを抜いたら忘れずにゴムキャップを装着してください。



指紋認証鍵エマージェンシーキーを差込口に挿入し、キーを右に回すと開錠できます。

開錠後は、キー左に回し、元の位置に戻してから抜き、ゴムキャップを装着してください。

※忘れずに、ゴムキャップを装着してください。

■パワーがでない、速度が遅い

停車して、インフォメーション・ディスプレイのバッテリー残量表示を確認してください。

●バッテリー残量表示が 1 個の状態で、走行モードが MID か HIGH になっていないか?

・ ECO モードに切り替え、充電してください。

●バッテリー残量表示が 1 個の状態で、かつ表示が点滅していないか?

・バッテリーを充電してください

●バッテリーが消耗していないか

・バッテリーを新品に交換してください (→右記「バッテリーの交換」参照)

※急な上り坂や厳寒な環境では、バッテリーの能力が低下し、パワーや速度が落ちます。

■バッテリーの交換

以下の場合、バッテリーが消耗してしまっています。 販売店で新品をご購入し、お取替えください。

・充電時間が長くなった
・満充電しても、走行距離が短くなった
・満充電しても、パワーが低下した

<知識>

・バッテリーは、空の状態から満充電までを 500 回繰り返すと、その容量が 80% 程度まで低下します。

・冬等、気温が低い時期、ところでは、その機能が低下します。暖かくなるとまた復活します。

■パンクした時

装着しているタイヤは電動バイク用タイヤで、チューブタイヤですので、販売店や一般的な二輪車取扱店等でパンク修理を依頼できます。

その他「おかしいな?」と思ったら、安全のためご使用はやめて販売店へお問い合わせください。

洗車

走行後は、車体を長持ちさせるためにも洗車をしてください。

通常走行でも汚れます。
雨天時では、泥などが付着し、さらに汚れてしまいます。
そして雨水以外に海辺付近では、潮風などにより潮が付着することがあります。
また冬季では路面に散布された凍結防止剤などにより、錆が発生することがあります。
長持ちさせるためにも、走行後はこれらを除去するためこまめに洗車をしてください。

車体は防水構造になっておりますが、完全防水ではありません。そのため、多量の水を集中的にかけるようなことはしないでください。洗車後は、ウエス等乾いた布で水分を拭き取ってください。またブレーキが濡れていると、降雨時と同様でブレーキの効きが悪くなりますので、洗車後は十分に乾燥させてからご使用ください。

⚠ 警 告

- ●高圧洗車機はご使用にならないでください。
- ●洗車前にバッテリーを取り外し、水に濡れない場所に保管してください。
- ●サドル下に設置した証明書携行用ケースを取外し、水に濡れない場所に保管してください。
- ●水は上からかけるようにしてください。
  →フレームの下から上には水をかけないでください。

廃棄

廃棄される際は、販売店もしくは最寄の「廃棄二輪車取扱店」にお問い合わせください。
またバッテリーは、リチウムイオン電池なので、資源有効利用促進法によりリサイクルが義務づけられています。
そのため適切に処理されなければなりません。
環境保護のためにも、むやみに捨てないでください。

「廃棄二輪車取扱店」とは

廃棄二輪車を適正に処理することができる二輪車取扱店です。
廃棄物処理指定店として登録されている取扱店で、一般社団法人全国軽自動車協会連合会に登録している販売店です。

廃棄二輪車取扱店票が店頭に掲出されています。

各部品の交換

ブレーキパッド、タイヤ等の消耗品、ヘッドライト、ウィンカー、ブレーキランプなど各部品の交換は、それぞれ GFR-01 の専用品のため、販売店にてお買い求めと交換ができます。
つきましては、販売店にお問い合わせをお願いいたします。

スペック

車両型式	GFR-01
全長	1260mm
全幅	580mm
全高	1000mm
軸間距離	900mm
車両重量	18.7kg(バッテリー装着時)
電動走行距離	約 40km ※1 ※2
出力	0.25kw
最高速度	30km/h ※2

バッテリー種類	リチウムイオンバッテリー
バッテリー電圧	36V
バッテリー容量	9.6Ah
充電時間	約 4 ～ 5 時間
駆動方式 (自転車モード)	チェーン
駆動方式 (モーター)	インホイールモーター
タイヤサイズ	14 × 2.125
適正空気圧 (目安)	3.2bar or 320kPa ※3
制動装置形式	ディスクブレーキ
乗車定員	1 名

※1 表示走行距離に関しては、以下のテスト結果を参考にしています。
<テスト環境> 天候 : 曇り 気温 : 21℃ 風速 : 0 メートル
直線区間約 5km を折り返し走行
モーター駆動のみで、速度 25km/h 以下で走行し、停止するまでの距離
(1) 荷重 50kg 時 44km
(2) 荷重 70kg 時 38km
※2 使用条件により異なります
※3 お使いの空気入れのゲージ単位に合わせて、空気圧を確認してください。

フレーム番号打刻位置



フレーム番号打刻位置



ハンドル・バー可倒部下に打刻

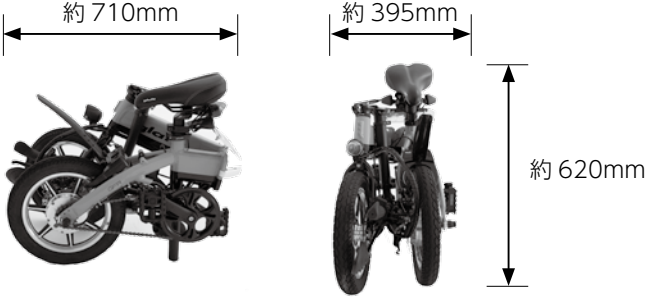
サイズ





※タイヤ幅は、空気圧等によって前後する場合がありますので、参考値となります。

折り畳み時のサイズ

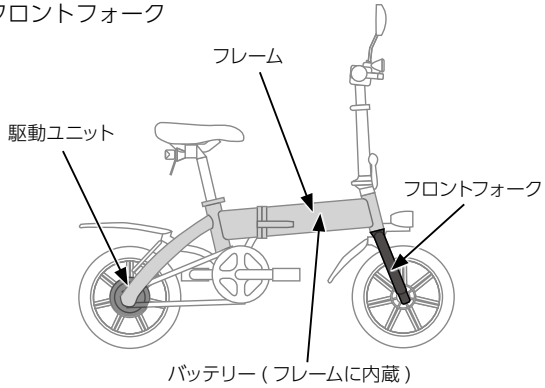


保証

取扱説明書に従った使用状態で、一定の期間内に品質不良や欠陥があった場合は、その保証として無料修理及び交換をさせていただきます。
この保証を受けるには、当取扱説明書 P47 の保証書が必要となります。保証書には、お客様の氏名、ご住所、電話番号の記載が必要です。そして販売店から販売日の記入が必要です。また販売店名、住所、電話番号の記載も必要です。ご購入後、これらをご確認ください。

＜保証項目＞

●フレーム
●バッテリー
●駆動ユニット (後輪ハブに内蔵のモーター)
●フロントフォーク



＜保証内容＞

●フレーム　ご購入より 2 年以内
●バッテリー　ご購入より 1 年以内 ※
●駆動ユニット　ご購入より 1 年以内
●フロントフォーク　ご購入より 1 年以内

※バッテリーの保証基準は以下となります。
「ご購入から 1 年以内に、満充電回数が 300 回以内で、初期容量の 50% 以下に劣化した場合」が保証の対象となります。

＜ご注意＞

保証対象の判断は、当社もしくは販売店で glafit バイク本体と、その保証書の内容を確認した上でさせていただきます。

お問い合わせ

お問い合わせは、ご購入の販売店までお願いいたします。

もしくは、当社までお気軽にお問合せください。

glafit株式会社(グラフィット)
〒640-8452
和歌山県和歌山市梅原579-1
TEL: 050-3642-4668